第２６４０地区

ARIDA 2000

No.　８５２

Club Bulletin

１７－１８年度 ＲＩテーマ
「ロータリー：変化をもたらす」

会　　長　　大浦輝彦
幹　　事　　辻本正成
クラブ会報委員長　南　良暢

母子の健康月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから
1．真実かどうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか

例会日／毎週水曜日　１９：００
事務局・例会場／〒643-0025 有田郡有田川町土生４０９
吉備インターゴルフセンター
TEL（0737）52−8960／FAX（0737）22−6800
E−mail／arida2kr@star.ocn.ne.jp
URL／http://arida2000rotary.club/
創立年月日／２０００年　4月１２日

本日のプログラム

平成３０年４月25日第８53回
ソング
会長の時間　　幹事報告　　委員会報告
ニコニコ箱報告　　出席報告
御坊東RCとの合同例会

次回のプログラム
５月　２日　休会
５月　９日　地区財務委員長
溝上裕章様　和歌山城南RC
５月１６日　次年度クラブ会長
のための時間

前回の報告（第８５２例会）

開催日　平成３０年４月１８日（水）

点鐘　大　浦　会　長

ソング「手に手つないで」

●会長の時間●大浦輝彦君

皆さん　こんばんは、本日もご出席ありがとうございます。

本日の、例会プログラムはロータリーの友を読むです。

担当委員の皆さん、よろしくお願いいたします。

月曜日に造幣局の桜の通り抜けに行ってきました。週末の荒天で花が心配でありましたが綺麗に咲いていまして、多くのお客様が見物に来られていました。

そもそも、お花見と言えば桜となったのは平安時代からで有るそうです。

それまで、お花見と言えば梅の花を愛でることで有ったようで、　平安時代の短歌が、桜と梅を詠んだものが多いのはこういう事が理由の様です。

平安時代に編纂された歴史書、「日本後紀」によりますと、嵯峨天皇が催した花宴の節という宴が桜のお花見の起源だとされています。

桜を愛でながら、歌を詠んで平安貴族は楽しんだそうです。

そして、ひたすらに優雅に過ごすことが大切であった平安貴族は、現在の花見のように 花より団子やどんちゃん騒ぎ、というわけにはいかなかった様です。こうして一部の特権階級の間では、「をかし」なイベントとして広まったお花見は、戦国時代となって武士たちの間でも盛んに行われる様になったそうであります。

いかにも体育会系な武士たちも、その対極にいるかのような文系の貴族の優雅な文化や振る舞いに、　尊敬のようなものを感じて花見を行ったのかもしれません。

なかでも豊臣秀吉が行ったお花見は、それは盛大で 庶民の耳にも届き話題となるほどだったと言います。その後、徳川幕府は庶民も桜が楽しめるように 桜の植樹を積極的に行い、庶民の間にも花見という習慣が生まれて、今に至っているそうであります。

今日は４月１８日、記念日を調べてみますと発明協会が１９５４年に制定した「発明の日」で有りまして、現在の「特許法」の元となる「専売特許条例」が交付された日であるそうです、又他にも世界アマチュア無線連合が1973年に制定した「世界アマチュア無線の日」や日本歯科医師会が1993年に制定した「よい歯の日」、4月のウッドデッキの販売台数が増えることに因んで「木」の字を分解し「一十八日」なることからウッドデッキの日、全国薫物線香組合が「香」文字を分解して「一十八日」になることからお香の日や「ガーベラ記念日」や「よいお肌の日」など数多くの記

念日となっています。
来週は、御坊東ロータリークラブとの合同例会であります。開会時間が30分早く18時30分開会となりますので御坊までの移動もありますが、遅れないようにご出席いただきますようにお願いいたします。
　内容は、「和田　勇」について　御坊ロータリークラブ、岡本恒夫様の卓話であります。
皆様よろしくお願いいたします。
　以上で会長の時間を終わります。ありがとうございました。

●幹事報告●辻本正成君

◆月信４月号の文言追加についてのお願い
◆例会変更（掲示）
◆第９回理事会報告
◆４月２２日地区協議会について

●各委員会報告●

◆ロータリーの友４月号
　（南　良暢君）
横組
P4夢を諦めない、約束を守ろう
P12メークアップのすすめ
P20世界のロータリーニュース
縦組
P4ダウン症の娘と共に生きて
P15友愛の広場
P18卓話の泉
P25ロータリーアットワーク

●出席報告●

	会員数	出席者数	出　席　率
本日の出席	１７名	１１名	６４．７１％
４／４	１７名	１７名	１００.０％

●ニコニコ箱報告●

大浦輝彦君：みなさんこんばんは。本日御出席頂きましてありがとうございます。
辻本正成君：本日は南さんよろしくお願いします。
永石睦巳君：南エレクト本日はよろしくお願いします。
芝　　毅君：南君本日はよろしくお願いします。
上野祥弘君：南先生本日よろしくお願いします。
浦﨑寿光君：皆様こんばんは。南君今日はよろしくお願いします。

●卓話●

「母子と健康」南　良暢君

1.1回の射精で2～3億の精子が膣内に放出されて強い精子だけが子宮に到達することができます。結果的に卵管に達する精子は数百個にすぎません。さらに過酷なサバイバルレースをくぐり抜けた精子1個だけが卵子に侵入して受精することができます。
2.ヒトの46本の染色体には約2万2000種類の遺伝子があるとされています。ヒトの体は37兆個，270種類もの細胞でできていると言われています。これらの細胞は全て一つの受精卵から分裂してできたものです。つまり，一つ一つの細胞の核に同じ2万2000種類の遺伝子が収められています。2万2000種類の遺伝子のうち，どの遺伝子がいつ使われるかは，受精卵が分裂して様々な種類の細胞に変化していく過程で変わります。使われる遺伝子の種類が変化することで合成されるタンパク質の種類が変わり，細胞に変化が起きます。
3.精子と卵子の染色体が46本ではなく，半分の23本しか持っていないことは重要なことです。精子と卵子は，染色体の数を半分にする分裂の方法である減数分裂という特殊な分裂を行なって作られます。自分のコピーを増やす目的で日々体内で行われている体細胞分裂では細胞は染色体を2倍に増やして1回分裂をしますので，結果として元の細胞と同じ染色体を持つ細胞が2つできることになります。これに対して，減数分裂では染色体を2倍に増やした後，2回分裂を行います。この結果，一つの細胞が持つ染色体の数は普通の半分，23本しか持たないことになります。減数分裂の1回目を第一分裂，2回目の分裂を第2分裂と言います。
4.卵子に注目すると，卵原細胞は胎児がまだ母親のお腹の中にいる時に減数分裂を開始します。この時の減数分裂は長期間にわたります。それは，卵原細胞は第1分裂前期までくると一旦分裂をストップするためです。そのストップした細胞が次々にストックされていきます。やがて胎児は母親から生まれて思春期を迎えます。この頃にようやくストップしていた減数分裂は再開されます。第2分裂の途中でまたもや分裂がストップして，分裂が止まったままの状態で細胞

は排卵されていきます。結局，減数分裂は細胞が精子と受精することをきっかけに再開され，受精後にようやく完了します。

5.では，精子はそうでしょうか。精原細胞はしばらく減数分裂を始めません。胎児が生まれて思春期を迎える頃，ようやく減数分裂が始まります。その後，精子の場合は減数分裂がすんなりと進行します。

6.双生児研究で，中学生の一卵性双生児の身長，体重はほとんど一致し，さらに50m走をはじめとするスポーツテストの成績も良く似ています。また学力との関係もあって，中学1年生における4教科の中で特に理科と社会の成績に遺伝の影響が強くあらわれることが示されています。逆に算数と国語の成績に遺伝の影響はほとんど見られず，環境の影響が大きいことが示されています。

7.遺伝の影響を「一生変わらない宿命的なもの」，環境の影響を「自由に変えることのできるもの」と考えることは単純すぎることです。人の心や行動も，体や病気と同じく遺伝の影響を受けていて，同時に環境の影響も強く受けています。しかし環境の影響は，同じ環境にいる人に同じような効果を持つものではなくて，その人の遺伝的素質によって異なります。その意味で遺伝と環境は決して切り離して考えることはできないものなのです。一人一人異なる遺伝的素質を持っているからこそ，一人一人にとっての環境の意味をよく考え，大切にしなければなりません。

8.脳や心は，心地よい状態の時によく発達します。自分の要求をわかってくれる人に赤ちゃんがなつくことを愛着と言います。一見，おとなしく聞き分けの良い自慢の子が，実は親の顔色をうかがい，不安定な愛着を持っているという例が増えてきています。この場合，子供はニコニコしているのに睡眠障害や拒食などの心身症の症状を出しているということになります。親を信頼し直すようになるとはじめて，甘えたりわがままを言ってリラックスしたりするようになります。早期乳幼児期（1～4歳）に，ひどい痛みや恐怖，不安，虐待が繰り返されて長引くと，心の傷となります。そして不安定な愛着や脳の発達のゆがみが生じしてしまいます。長期の緊張や不安の情動反応は，コルチゾールというストレスホルモン分泌を促し，脳の構造や機能の発達に影響します。脳波の研究では，左脳の前頭葉や側頭葉に異常な脳波が出現し，脳の発達のゆがみが認められて，後年の精神障害につながるとも言われています。緊張と不安から脳が絶えず警戒態勢におかれると，些細なストレスでも嫌な記憶が蘇ります。そして記憶回路が活性化されて，さらにストレスホルモンが分泌されるという悪循環に陥ります。すると普通の学習能力に欠陥が生じ，忍耐力や注意力などの発達が阻害され，性格形成にも偏りが生じてくると考えられています。

9.出生前診断とは母親のお腹の中にいる胎児の疾患の有無を調べるものです。母親は採血するだけで簡単に済みます。妊娠中の胎盤にある胎児由来の絨毛組織は母体血中に浮遊していて，そこから胎児は酸素や栄養の供給を受けることになります。その絨毛の表面をおおう絨毛細胞は盛んに細胞分裂し，古くなった細胞から母親の血液中に剥がれ落ちていきます。その剥がれた細胞や壊れた細胞から流出してきたDNA断片が，母親の血液内に入って母体内を回ります。出生前診断とは，この母体の血液内に含まれている胎児のDNA断片を分析する検査です。

出生前診断の問題点は，

妊婦が十分な認識を持たずに検査が行われる可能性がある『検査結果によって妊婦が動揺，混乱して検査結果について冷静な判断ができなくなる可能性があります』ことや，

検査結果の意義について妊婦が誤解する可能性がある『出生前診断は精度が血清マーカー検査と比較して高いので妊婦が結果を確定的なものと誤解してしまう可能性があり，本来は胎児が疾患であると診断されればそれを確定させるためにさらに羊水検査等による染色体分析を行うことが必要となります』こと，

さらに疾患を持つ胎児の発見が目的となったマススクリーニング検査になる可能性があること『大勢の胎児の中から疾患を持つ胎児を発見することが検査の主な目的になる可能性があります』です。

●閉会点鐘●大浦会長

4/22地区協議会